

○どこでも積極的にあいさつができる子 ○個性を生かし主体的・対話的に課題解決する子 ○進んで思いやりのある行動がとれる子

北大和小だより

2月号

令和3年1月29日
大和市立北大和小学校
〒242-0001 大和市下鶴間685
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kiita/>



「感染症対策とコロナ差別の不安解消」

最近では、市内で一日に80人という感染者数から10人台となり「随分少なくなった」と感じましたが、よく考えれば10人を越えたときに「これは大変だ」と思っていたはずで、人の「慣れ」というのは怖いものです。緊急事態宣言下の1月が終わろうとし、宣言の期限である2月7日が近づいています。一日の感染者数に減少傾向がみられるようになりましたが、依然として不安要素が積みまとう気の抜けない状況です。

さて、今回の緊急事態宣言下、市内各学校で同様に、ご家族の職場やご家族の中での新型コロナウイルス陽性に関する連絡が多く学校にあり、大和市教育委員会への報告と保健所との連携のもとに日々の学校を運営し児童の登校機会を確保している状況にあります。

その中で感じたことがあります。それは、自分や家族がそのような状況になった時に、大変不安になるということです。新型コロナウイルスの病状や次の感染不安があるのはわかりませんが、見過ごせない点として「周囲の目や差別を受ける不安が生まれる」ということです。本来は温かく見守られ、励ましてもらうべきことなのに、一部の心無い相手を傷つける我儘な言動に怯えなければならないという理不尽さがあるのです。

現在はどこで誰が罹患してもおかしくない状況です。「ゆっくり」「しっかり」という言葉で感染対策を進めていますが、「決して感染に直面し苦勞をしている方を踏みにじるような差別的な言動をしてはならない」ということの大切さを伝える必要を感じています。

人との関わりで距離を置くことの多い現状ですが、是非、こんな状況だからこそ、学校の中でも、ご家庭の中でも、「相手を温かく思いやる心の大切さ」を全ての児童に示していきたいものです。

校長

校内の学習環境が進展しています。

裏面に写真がありますが、現在、学校で学習に関わる環境が大きく進展しています。

① 図工室、PC教室、学校図書館の本校舎への移転

各学年の教室から遠くにあったプレハブ校舎から本校舎に移転しリニューアルしました。特に、学校図書館は多くの児童が足を運び、密にならないよう人数制限をしながらも、新しい学習拠点、児童の人気ある居場所として活用が始まりました。

② ICT端末一人一台環境が実現しました。

教室に端末の保管庫が入り、一人につき一台のICT端末(クロームブック)が貸与され活用が始まります。今後、使い方から学習を始め、授業での活用を進めてまいります。IDとパスワードを自己管理するところから始まり、学年の発達段階に応じて徐々に活用の幅を広げていく予定です。今までクラスの割り当ての日にPC教室まで行って利用していた情報機器が必要な時に使える環境ができました。今後期待しています。